

報道関係者各位

2026年3月31日

地域共創で建設業界の持続可能性を追求

若手人材の成長を支援する 「S.T.A.R.プロジェクト」に協力企業として参画

ケイアイスター不動産株式会社（本社／埼玉県本庄市、代表取締役社長／塙 圭二、以下「当社」）は、若手人材育成プログラム「S.T.A.R.プロジェクト（以下、本プロジェクト）」に協力企業として参画しました。



本プロジェクトの最終報告会において、当社の建設現場の見学などを経て、本プロジェクト採択者（以下、クリエイター）が考案した「職人の人材育成を AI 動画マニュアルで簡単に」をテーマとするアイデアが発表されました。

参画の背景：次世代を担う若手の「成長」を応援、持続可能な社会を創る

当社は本プロジェクトを、未知の分野へ挑戦する若手人材の「成長支援」の場であると同時に、持続可能な社会を目指す地域共創の一環と捉えています。

私たちは、建設業界が直面する課題の解決に向け、次世代を担う若い力を育成することが重要と考えています。

既存の枠組みを超えるべく学生をクリエイターとして迎え入れ、実際の施工現場の提供や、現場従業員との対話機会を創出することで、学生たちが社会課題の本質に触れるプロセスを後押ししました。

■ 発表内容：現場のリアルを捉えた「作業を支える眼鏡」

参加したクリエイターは、建築業界の固定観念を持たない学生ならではの視点で、現場の課題を探りました。当社の建設現場へ足を運び、職人と対話を重ねる中で、「教える」のではなく、両手がふさがっている状態でも「作業を自然に支える」仕組みが必要であるという独自のコンセプトを導き出しました。

最終報告会では、熟練者の動きをAIで形式化し、ARグラス越しに手順を表示することで、未経験者でも迷わず安全に作業ができる未来の現場像が提案されました。



当社のコメントと今後の展望

ブルーカラーと呼ばれる建設業と最新技術の融合は難易度の高いテーマでしたが、学生たちが現場に寄り添い、真摯に課題を見つけ出そうとする姿は当社の従業員にとっても大きな刺激となりました。発表された「作業を支える眼鏡」は、従来の指導方法をアップデートし、デジタルネイティブ世代が建設業を身近に感じる大きなきっかけになると確信しています。

当社は、今後も地域や産業界との連携を強化し、次世代を担う若手人材の成長を支援しながら、建設業界の未来を見据えた環境づくりに貢献してまいります。

■ S.T.A.R.プロジェクト（※1）とは

埼玉県にゆかりのある15～25歳の若者から、県内自治体・企業が抱える課題を解決するためのアイデアを募り、これまでの経験や最新技術を駆使したアイデアを磨き上げ、実証支援までを行うプロジェクトです。当社は「日本一憧れの職人集団を目指せ、社員職人の採用と育成」をテーマに掲げ、最新技術を駆使し、職人の高齢化・後継者問題などによる職人不足解消を目的に本プロジェク

トへ参画しました。

※1…経済産業省 令和6年度未踏的な地方の若手人材発掘育成支援事業費補助金「AKATSUKI プロジェクト」採択事業として株式会社地域デザインラボさいたま、株式会社埼玉新聞社、合同会社アंकアンドパートナー、株式会社デジラボホールディングス
が実施

■ ケイアイスター不動産株式会社とは

「豊かで楽しく快適なくらしの創造」を経営理念に、「すべての人に持ち家を」をビジョンに掲げ、『高品質、だけど低価格なデザイン住宅』を供給しています。

仕入から販売までを一気通貫で行う、「KEIAI プラットフォーム」と「コンパクト戸建住宅」という独自のビジネスモデルによって、分譲住宅市場シェアの拡大を図ります。

事業エリアは、首都圏を中心に全国各地で戸建分譲事業を展開販売(※)しています。2025年3月期の売上高は3,425億円(※グループ連結数。年間9,125棟(土地含む)を販売)。

【会社概要】

社名 ケイアイスター不動産株式会社 (コード番号：3465 東証プライム市場)
代表 代表取締役社長 塙 圭二
所在地 〒367-0035 埼玉県本庄市西富田 762-1
資本金 4,818 百万円 (2025.3.31 現在)
設立 1990 年 11 月
従業員数 2,664 名 (連結 / 2025.3.31 現在)
URL <https://ki-group.co.jp/>
事業内容 分譲住宅事業、中古住宅再生事業、注文住宅事業、ストック事業、アパート事業、
収益事業、分譲マンション事業、海外事業 ほか

【報道関係者からのお問合せ先】

ケイアイスター不動産株式会社 広報室 広報課

TEL : 03-5299-7575 FAX : 03-5299-7562 E-mail : press@ki-group.co.jp